### ※入札公告を必ず確認してください。(海老名市ホームページに掲載しています)

## 入札案件概要書(工事) 契約番号: 7180

件名	旧安全協会建物解体工事
履行場所	海老名市大谷北一丁目5番3号
工期	令和7年12月5日~令和8年2月13日(71日)
工事の内容等	別紙 仕様書等 のとおり
予定価格	6,699,000 円 (税込) 6,090,000 円 (税抜)
最低制限価格	有り (開札後算定型) 詳細は海老名市最低制限価格等取扱基準及び入札説明書等を参照してください。
	低入札履行確認調査を実施します。詳細は低入札による履行確認調査取扱基準 を参照してください。
落札候補者の入札金額 が、調査基準価格 (70%) 未満の場合 ※ただし、予定価格 (税 込) 100 万円以下の案件 は除く。	<ul> <li>契約締結にあたっての制限等</li> <li>○ 技術者と現場代理人の兼務不可 ※前年度の工事評定平均が「B (75 点)」以上である場合は除く。</li> <li>○ 技術者及び現場代理人の他案件(本市入札案件)との兼任不可 ※技術者等の兼任制限が解除されている場合でも不可</li> <li>○ 前払金の制限(金額上限、中間前払金の制限など) 契約金額の20%以内(海老名市契約規則により、前払金が適用となる場合に限ります。)</li> <li>※前払金の上限金額は5,000万円以下。中間前払金の支払いはありません。</li> <li>契約全額の30%以上に相当する次のいずれかの手続きが必要です。</li> <li>※現金納付及び実績による免除はありません。</li> <li>(ア)金融機関又は保証事業会社の保証(イ)公共工事履行保証証券による保証(履行ボンド)</li> <li>(ウ)履行保証保険契約の締結(定額てん補)</li> </ul>
入札方法等	条件付一般競争入札(電子入札)
質疑 (仕様等に関する事項)	所定の書式により、FAX で受け付けます。 電子入札システムの機能は使用しないでください。

参	営業種目	290 解体の下請契約の請負代金の合計の額が5千万円(建築ー式工事の場合は8千万円)以上となる場合には特定建設業の許可が必要です。 併せて、主任技術者に代えて監理技術者を配置すること。
加	発注区分 詳細は入札公告で確認し てください。	第 4 区分 第1・第2区分の入札に初めて参加する場合は、営業 実態調査票及び認定書の写しを提出してください。
条	その他の要件	告示日現在で社会保険(健康保険、厚生年金保険及び雇用保険)に加入している こと。 ※法令に基づき社会保険適用を除外されている場合を除く
件	落札件数制限	なし
P	配置技術者等の 兼任について	本案件に配置する主任(監理)技術者及び現場代理人は、工事・コンサル・ 一般委託の区分を問わず同じ開札日の他の案件に配置できません。
	事前提出書類 (システム <u>添付</u> )	参加資格確認申請時に次のファイルを添付してください。 ファイルは一つにまとめてください。 〇告示日現在で社会保険(健康保険、厚生年金保険及び雇用保険)に加入していることを証する書類の写し。(次の(1)~(3)のいずれか)

	(1)経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書(経営事項審査)の写し ※経営事項審査の有効期限内の通知書を提出していれば提出不要 (2)(同通知書発行後に社会保険に加入した場合)健康保険、厚生年金保険及び 労働(雇用)保険料の領収書の写し (3)(法令に基づき社会保険適用を除外されている場合)健康保険、厚生年金保 険及び雇用保険の加入義務がないことの届出書
入札時提出 (システム添付)	○入札金額積算内訳書 別添のエクセルファイル「入札金額積算内訳書(工事入札時システム添付)」をダウンロードして使用してください。システムへはPDF化して添付してください。
落札候補者が 提出する書類 (FAX046-232-6574)	開札後、落札候補者は次の書類をFAXで提出してください。 (落札候補者決定の翌開庁日午前10時まで。詳細は開札後FAXで通知します。) ○配置技術者等に関する書類 ○建設業許可の確認できる書類 ※健康保険被保険者証の写しを提出する場合は、被保険者等記号・番号及び
	保険者番号 (3箇所) にマスキング(黒塗り)をして提出してください。

## 旧安全協会建物解体工事

内容説明事項書

海 老 名 市

- 1. 工事名称 旧安全協会建物解体工事
- 2. 工 事 場 所 海老名市大谷北一丁目5番3号
- 3. 工事概要建物および付帯物を解体撤去処分のうえ、整地を行うもの。
  - 工事内容
  - 1. 直接仮設費

外部足場、災害防止、内部足場

- 2. 建物除却工事費、工作物除却工事費 建物 1 棟、フェンス等解体処分
- 3. その他の除却関連工事費、雑工事費 整地ほか
- 建物概要(参考)

平成13年4月竣工

木造2階建て 敷地面積: 152.48㎡ 建築面積: 91.48㎡ 延床面積: 137.46㎡

- 4. 工 事 期 間 令和7年12月5日 から 令和8年2月13日 まで
- 5. 設計 図書 上記諸条件に依る見積に必要な図書は下記とする

 (1)設
 計
 図
 10 枚

 (2)内容説明事項書(本書・環境配慮マニュアル)
 5 枚

- 6. 数 量 書 (1)数 量 書 … 11 枚
- 7. 法 令 の 遵 守 本工事の実施に当たり、建築基準法、消防法、その他各関係法令・規則 等を確実に遵守すること。
- 8. 官 公 署 手 続 官公署手続きは、全て受注者の責任と負担に於いて行うこと
- 9. その他の事項

項目	適 用	内 容	備考
(1)事業区分			
①事業区分	<ul><li>□ 補助事業</li><li>■ 市単事業</li></ul>		
(2)工事監理体制			
②工事監理体制	■ 市担当者 □ 外部委託者		
(3) 工程関係			
①工期内施設利用	□有■無		安全対策を施し、各関係者の安全確 保を図ること
②関連工事、 その他工事	□有■無		
③施工時期の制限	□有■無		日曜、祝日は原則休工とする
④施工時間の制限	□有■無		前面道路通行等に支障のないよう留 意すること
⑤協議未成立事項	□有■無		

項目	適	用	内 容 等	備考
(4) 仮設関係				
①仮設計画	□有	■無		受注者において、発注図を参考に作成し、事前に施設管理者及び市担当 者等の承諾を受けること
②交通誘導員	■ 有	口無		
③工事用電力、 水の利用	□有	■無	受注者対応	
④濁水・湧水処理にお ける特別な対策等	□有	■無		
(5) 支給品				
①支給品について	□有	■無		
(6)建設副産物関係				
①建設発生土	□有	■ 無		
②建設副産物 建設廃棄物	■有	□無		
③その他 (特別産業廃棄物等)	□有	■無		
(7)各種調査、使用制限				
①各種調査	■有	口無	■アスベスト含有調査	数量書による
②使用制限 関係法令、規則等を遵守す るのは当然のこと右記事項 にも配慮すること	■有	口無	揮発性有機化合物等	本工事に使用する材料は、揮発性有機化合物等の放散しないもの又は放散量の少ないものを使用すること(F☆☆☆☆使用)
(8) 現場対応				
①現場照査等			·分に行い、不明確な部分は :認をとること	工事打合簿により施工前に市監督員
②公衆災害			る振動・騒音・粉塵・悪臭 ルについては、受注者の責	等については、特に注意し、付近住 任において解決すること
③原形復旧			備品類の移動及び養生、清 事後は原形に復すること	掃については、受注者の責任におい
(9) その他				
①適用基準等	■ 海: □ □	老名市	tームページ「海老名市公 <b>#</b>	・工事共通事項書」適用図書による
②工事完成図書	■ 海	18 工事 老名市7	ホームページー検査担当から 関係様式」内、工事提出書 ホームページー営繕課担当事 市営繕工事 工事提出書類作	類チェックリストによる <sup>薬</sup> 務
③海老名環境マネジメ ントシステム	マニュ	アル」		ムの運用に伴い、「公共工事環境配慮 こ事では、その環境配慮マニュアルに いて環境配慮に努めること
④法定外の労災保険の 加入	加入す	ること		害補償制度(法定外の労災保険)に を締結したときは、発注者にその証

## ☆ 公共工事において配慮すべき環境要素

海老名市の公共工事において配慮の対象とすべき環境要素は、以下の一覧表のとおりとする。これらの環境要素は、工事施工過程の環境負荷の低減はもとより、公共工事の成果として地域及び地球環境に有益な影響が得られるためには不可欠なものである。

### 環境要素一覧表

大分類	中分類	小分類						
		①自然林、草原など面的な広がりを持つ緑						
	(1)緑	②堤防、土手、法面、並木などの樹林帯又は草原など線的な連続性を持つ 緑						
	(2)地形·地質	その場所本来の地形・地質とそれに依拠する生態系						
	(3)水辺	河川や水路などとその堤敷及びそれに依拠する生態系						
1 地域の自然環境・ 景観	(4)動植物	現にその土地に生息するか、又は最近まで生息していた動植物						
	(5)歴史的遺産	①地表に存在する文化財、遺跡等 ②埋蔵文化財						
	(6)景観	①その土地の現在の景観 ②その土地に現在ある眺望地点とそこからの景観						
		③道路等、都市基盤施設がもたらす景観						
	/1\咨距	①石油類・金属・水・岩石等の鉱物資源						
	(1)資源	②木材等の森林資源						
		①公園、屋外体育施設又は工事などで発生する砂塵による迷惑を考慮すべき局地的な大気環境						
	(2)大気	②自動車の排ガス、ごみ焼却施設からのダイオキシン等による汚染を考慮 すべき地域的な大気環境						
		③フロンガス、二酸化炭素等の放出による影響を考慮すべき地球規模の 気環境						
		①公園、屋外体育施設、駐車場などの排水の影響を受ける水系						
	(3)水質	②土地の改変等による濁水等の影響を受ける水系						
2 地球環境		③土木工事により影響を受ける地下水						
2 25442	(4)土壌	畑、水田、砂利道等のほか舗装されていない剥き出しの地面						
	(5)建設副産物	①排出土         ②コンクリートガラ         ③アスファルトガラ         ④伐採材         ⑤まだ使用可能な製品         ⑥鉄骨・鉄筋・その他の金属類の切りくず         ⑦不要木材         ⑧PCB等の毒性物質         ⑨その他の建設廃材						
	(6)熱帯林	コンクリート型枠などに使用され、減少を続ける熱帯林資源						
	(1)騒音	①工事作業機械の稼動による騒音 ②工事用車両走行による騒音 ③公園、野球場、陸上競技場等屋外体育施設での騒音 ④施設の空調機等電気・機械設備の騒音						
	(2)振動	①工事作業機械の稼動による振動 ②工事用車両走行による振動						
	(3)悪臭	しゅんせつ土等の悪臭						
	(4)電波障害	大規模建築物による電波受信状態への影響						
3 生活環境	(5)日照障害	大規模建築物による日影時間への影響						
		①公園、野球場、陸上競技場等屋外体育施設又は他の施設等の夜間照明により影響を受ける周辺住民の生活環境						
		②道路整備におけるルート又は道路構造による地域分断						
	(6)地域生活環境	③歩道若しくは道路横断施設又はその他の公共施設等における高齢者・障害者の安全な通行・歩行環境						
	1	○上担世法院長の財本担然 の川1 N 末下により B郷ナ 近はて 立ての出入						
		①大規模建築物の駐車場等への出入り車両により影響を受ける交通の安全 性						

### □ 設計・施工時に配慮する事項

## 5. 建物解体工事

作業	配慮事項	環境要素
工事全体	周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑える。	3-(1)-①② 3-(2)-①②
	材種別に分別収集し、リサイクルできるものは必ず再生プラントへ搬入する。	2-(5)-①~⑨
廃棄物	廃棄物の適正処理(マニフェスト管理)	2-(5)-(1)~(9)
	アスベスト、フロン、PCBの適切な管理・処分を行う。	2-(5)-8
	砂塵などの飛散防止のため散水養生を行う。	2-(2)-①
	低騒音・低振動型作業機械を使用する。	3-(1)-①
	排ガス規制に適合した作業機械・車両 (ディーゼルエンジン) を使用する。	2-(2)-②
お種別に分別収集し、リサイクルできるものは必ず再生プラン る。     廃棄物    廃棄物の適正処理(マニフェスト管理) アスベスト、フロン、PCBの適切な管理・処分を行う。 砂塵などの飛散防止のため散水養生を行う。 低騒音・低振動型作業機械を使用する。 排ガス規制に適合した作業機械・車両(ディーゼルエンジン)る。  エ事作業機械・車両運行	周辺住民の生活を妨げないように作業時間帯を設定する。	3-(1)-①② 3-(2)-①② 3-(6)-⑤
	周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑える。  材種別に分別収集し、リサイクルできるものは必ず再生プラントへ搬入する。  廃棄物の適正処理(マニフェスト管理) アスベスト、フロン、PCBの適切な管理・処分を行う。 砂塵などの飛散防止のため散水養生を行う。 低騒音・低振動型作業機械を使用する。 排ガス規制に適合した作業機械・車両(ディーゼルエンジン)を使用する。  排ガス規制に適合した作業機械・車両(ディーゼルエンジン)を使用する。  周辺住民の生活を妨げないように作業時間帯を設定する。  道路以外の場所に作業機械搬入車両、ダンプトラック等の待機場所を確保する。	3-(6)-⑤
	工事用作業機械・車両の待機中はアイドリングをしない。	2-(2)-② 3-(1)-①

令和7年度

# 数量書

工事名称 旧安全協会建物解体工事

工事場所 海老名市大谷北一丁目5番3号

エ 期 令和7年12月5日から令和8年2月13日まで

工事概要 建物および付帯物を解体撤去処分のうえ、整地を行うもの。

- 工事内容
- 1. 直接仮設費 外部足場、災害防止、内部足場
- 2. 建物除却工事費、工作物除却工事費 建物 1 棟、フェンス等解体処分
- 3. その他の除却関連工事費、雑工事費
- 建物概要(参考)

平成13年4月竣工

木造2階建て 敷地面積:152.48m 建築面積:91.48m 延床面積:137.46m

工事費內訳 1

名	<b></b>	数	量	単位	金	額	備	考
旧安全協会建物解体工事								
直接工事費			_					
			1	式				
計								
共通費								
共通仮設費								
<b>共進似成員</b>			1					
ato Uz fele are th				式				
現場管理費			1					
			1	式				
一般管理費等			1					
			1	式				
計								
工事価格								
± ₹  μι   μ			1					
消費税等相当額				式				
们 <b>其 忧 寺 怕</b>			1				消費税率 10 %	
Loth				式			,	
工事費			1					
			1	式				

h		16/	-	M 41	^	skeet	/++-	++
名 直接工事費 A	称	数	量	単位	金	額	備	考
但灰上 <b>尹</b> 其 A			1					
直接工事費B				式				
但按工事質 D			1					
as the true to the				式				
発生材処分費			1					
				式				
計								

直接工事費 A 名	称	数	量	単位	金	額	備	考
	471	奴	巫	中亚	- AE	帜	VHI	*7
			1					
の此の吟が明末て東連				式				
一の他の除却関連工事費			1					
				式				
<b></b>			1					
			1	式				
計	•							

## 解体工事 科目別内訳

直接工事費B							T	
名	称	数	量	単位	金	額	備	考
<b>建物除却工事費</b>			1					
			1	式				
工作物除却工事費								
			1	_15				
計	•			式				
p1								
		1						

生材処分費 名	称	数	量	単位	金	額	備	考
E材処分費	113	200		7-122	ш.	BA.	VID	
			1					
章	I.			式				
F	Т							
			·					
				1				

直接工事費A			直接仮設費								
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 600×1700 掛払い手間、供用 料共	布枠500×1枚 賃料修理費、基本		280	m²						
災害防止	防音シート 掛払い手間、供用 料共	賃料修理費、基本		280	m²						
内部仕上足場 (改修)	階高4.0m以下 脚立足場 一般			138	m²						
仮設材運搬費				1	式					別紙 00-0001	
計											

直接工事	費A			その他の除却限	月連工事費			その他の除却関連工事費						
名	称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考		
砂利地業		切込砕石												
					15	m3								
敷地整地		締固め共				mo								
					152	2								
計	-					m²								
									<u> </u>					

直接工事費A			雑工事費					雑工事費			
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
給水管端部閉塞	水道メーター近傍		_								
				1	か所						
排水管端部閉塞	公設桝近傍				7771						
				1	か所						
計					72 121						

直接工事費B		建物除却工事費					建物除却工事費				
名 称	摘 要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考	
(建物解体)											
上屋解体	手こわし併用機械解体		138	m²							
內部造作材撤去	事務所		138	m²							
とりこわし機械 軍搬 (ベースマシン, バックホウ)			1	往復							
木材類 集積、積込み	機械		22. 8	m3							
とりこわし 発生材運搬	g y y y k y y y y y y y y y y y y y y y		22. 8	m3							
(基礎・土間)											
基礎解体	機械壊し 犬走土間共		90	m²							
跌筋切断	集積共		15	m3							
ンクリート類 集積、積込み	機械		15	m3							
とりこわし 発生材運搬	g y y y k j y y y y y y y y y y y y y y y		15	m3							
(混合廃棄物)											
発生材積込み	ボード・木材類 人力		29	m3							
とりこわし 巻生材運搬	ダンプトラック     4t積級       バックホウ0.28m3     石こうボード類       DID区間有り     5.5km以下		29	m3							
(石綿含有材)	レヘ゛ル3										

直接工事費B			建物除却工事費			建物除却工事費	
名 称	摘	要	数量	単位	単 価	金 額	備考
発生材積込み	ボード・木材類 人力	h					
			2.7	m3			
とりこわし	ダ`ンプ゜トラック 4t積	<b>青級</b>		1113			
発生材運搬	バックホウ0.28m3 石ご	_ うぉ´ード類	2. 7				
(電気設備)	DID区間有り 60.0	km以下		m3			
(电双欧洲)							
アンテナ撤去	八木式						
/ V / / 18X ZS	10/120		1				
W. G. F. B. B.				か所			
蛍光灯器具 撤去	露出形 FL 20 再使用しない	W ×2	24				
JHX ZX	TT IC/11 C/2 V		24	個			
機械警備撤去	配線配管含む		_				
			1	式			
分電盤撤去				14			
			1	_15			
スイッチ・コンセ				式			
ント撤去			1				
3 10 2 1 with John Brite	(pos) 7/4 H)			式			
ねじなし電線管 撤去	(E25) 再使用した	211	1				
			1	式			
600V絶縁電線	1.6mm × 1本 再	使用しない					
(PF管内) 撤去			1	式			
発生材積込み	ボード・木材類 人力	h		14			
			2				
とりこわし	タ゛ンプ゜トラック 2t種	<b></b> 書級		m3			
発生材運搬	バックホウ0.13m3 木杉	才類	2				
(±±), n∈ 4-± 994.)	DID区間有り 6.5	km以下		m3			
(機械設備)							
換気扇撤去	フード共		5	l T			
			5	か所			
流し台撤去	水洗撤去共			74 721			
			1	-45			
				式			

直接工事費B		建物除却工事費			建物除却工事費	
名 称	摘要	数量	単位	単 価	金 額	備考
ガス台撤去	レンシ゛フート゛共					
		1	式			
大便器撤去	gンク式 再使用しない	+	工			
X (X IIII IIX ZX	11 12/11 0.21	2				
			組			
(給排水設備撤	去					
'						
散水栓撤去						
		1	,			
給水管撤去	VP 20 φ		か所			
M□ / 1 目 1 I I I I	11 20 ψ	22				
			m			
給水管撤去	CP 13 φ	10				
		10	m			
雨水枡撤去			111			
		5				
HI1 - /// ## -1-	VIII. 100 .		か所			
排水管撤去	VU 100 φ	18				
		10	m			
排水管撤去	VU 75 φ					
		8				
排水管撤去	VU 50 φ		m			
21.7.6.20	, c	6				
New I III III II	150		m			
汚水桝撤去	150 φ	4				
		4	か所			
土工事	埋め戻し共		//			
		1	-45			
発生材積込み	ボード・木材類 人力		式			
元 147 1貝 (2007)		2				
		-	m3			
とりこわし	タ゛ソプ トラック 2t積級					
発生材運搬	^゙ックホウ0.13m3 木材類 DID区間有り 6.5km以下	2	m3			
計	西西村田 カー の・9世紀 1		111.0			

直接工事費B			工作物除却工事				工作物等除却工事費					
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考	
縁石撤去	南東面縁石 H=19	0程度										
				1	式							
フェンス撤去	H=1800 基礎撤去	後穴埋め共										
	南面 5.4m			1	式							
ポスト撤去					IV.							
				1								
コンカリートフ゛ロッカ樹夫	300角程度 t=1	50程度			か所							
- V / / I / F / / IBA ZA	000万征汉 1	00年/文		2								
=1					枚							
計												

発生材処分費			発生材処分費			発生材処分費					
名 称	摘	要	数量	単位	単 佃	б	金	額	備	考	
発生材処分費	木くず										
			22. 8	. 0							
発生材処分費	コンクリート塊 (有筋)			m3							
u i i i i i i i i i i i i i i i i i i i	177 176 (11/1/17)		35. 3								
ro d. I. I. a. d. otto	V			t							
発生材処分費	混合廃棄物		29								
			23	m3							
発生材処分費	石綿含有産業廃棄物										
			2. 7	m3							
発生材処分費	金属くず			ms							
ALLINCX X	35.71-4		2								
70 (I. L.L to /) zb	W Mr Ire			m3							
発生材処分費	蛍光灯		6								
			0	kg							
発生材処分費	混合廃棄物 機械分										
			2	m3							
計				1113							

解体工事 別紙明細 9

直接工事費A			直接仮設費								
名 称	摘	要	数	量	単位	単	価	金	額	備	考
反設材運搬費										別紙 00-0001	
				1	式						
反設材運搬	建枠幅600				エし						
(枠組本足場)				280							
(手すり先行方式)					m²						
反設材運搬 シート・ネット類)				280							
(マード・ヤクド 無見)				200	m²						
反設材運搬	2階建										
内部仕上足場				138	m²						
脚立足場) 計					m						
н											

名 称	摘 要	数量	単位	単	価	金	額	備	考
名 你 由脂庫移設		― ― ― ― ― ― ― ― ― ― ― ― ― ― ― ― ― ― ―	- 早位	平	100	歪	积	1/用	与
<b>出</b> 届 <b>冲</b> 移	基礎撤去後モルタル補修共		1						
	アース取外し共		式						
スベスト分析	定性		10						
	窯業系サイディング、 ビニル床タイル		2						
	Michigan III		検体						
払い	仮設影響範囲								
			1						
			<b></b>						
<sup>*</sup> ート <sup>*</sup> フェンス	H=1.8m 柱脚固定具共 南東西面								
	掛払い手間 共用1日賃料 基本料	4	1						
2 12 - 1 -	修理費共 運搬費共		m						
`ート゛フェンス	H=1.8m 柱脚固定金具共 工事完了後存置		1						
	上事元」後行直 北側のみ		式						
5音シート貼り	カ゛ート゛フェンス部		1/						
J E V TALL J	掛払い手間 共用1日賃料修理費	5	0.4						
	基本料 運搬費共	·	m						
設敷鉄板	前面道路等養生								
	設置撤去賃料整備運搬費共		1						
	30㎡程度		式						
で通誘導員									
		2	0						
31			人						
計									
							·		

特 記 仕 様 書	⑦. I	事写真	※ 作成する ・ 作成しない	3 ①.	再資源化等	11 = 0 = 1 = 1 = 1 = 1		[4. 4. 1 (b)] 6	). 一般事項	石綿等の取扱については、石綿障害予防	
I 工 事 概 要			工事写真は、「海老名市公共工事デジタル写真管理要領」により撮影する。	建		建設廃棄物の 種類	中間処理施設又は 再資源化施設の名称等	所在地 (km) ァ		第21号)(以下、「石綿則」という。)を遵: 施工調査	守すること。 〈9.1.1〉
1 工事番号・名称 旧安全協会解体工事				Æ		⊙コンクリート				・行わない。	
2 工事場所 海老名市大谷北一丁目5番3号				設		○コンクリート及び 鉄から成る建設資材		<u> </u>		※ 行う (調査結果は図面等に記録し 調査の結果、設計図書と異	ン、監督職員に提出すること。 異なる場合は監督職員と協議する。)
都市計画区域(〇 内 · 外) 用途地域(市街化区域 準工業地域) 防火地域等(・ 防火 · 準防火 ① 指定なし ① 22条 )				廃		○木材類					• ( )
その他の地域・地区( 4 主 要 用 途 -				_		○金属類				調査事項 ※ アスベスト含有建材等の使	
5 敷 地 面 積 152.48㎡ 6 工事の概要	图. 火:	災保険等	工事目的物及び工事材料等について、次により保険に付す。 保険の種類・・火災保険・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	棄						※ アスベスト含有建材等の種 ※ 施工範囲と工事範囲区分	!類、厚さ
5 <u>1</u> <del>1</del>			保険期間 ※ 工事着手から工事目的物引き渡し日まで・	物						※ 搬出等作業の方法 調査結果の公表(公衆に見やすいよ	:うに掲示すること)
建物および付帯物を解体撤去処分のうえ、整地を行うもの。 1. 直接仮設費	2 ①. 仮	囲い	○ 設ける (位置、延長等は図示)					建 建		※ 事業場の名称 ※	調査結果調査者及び所属
外部足場、災害防止、内部足場			・ 万能鋼板 (H= ) ・ 波形鉄板 (H= ) ・ 単管シート (H= ) ○ 防音シート (H= )				資源化の 再資源化施設の				調査終了年月日
2. 建物除却工事費 建物 1 棟解体処分	仮		・ 防音パネル (H= ) ・ パネルゲート (W= H= ) × 1箇所	処		種類 ○蛍光ランプ ○	有無 名称等 する	( k m) 0		※ 発注有からの通知 アスベスト含有分析	⟨9. 1. 1⟩
3. その他の除却関連工事費			<ul><li>・ シートゲート (W= H= ) × 箇所</li></ul>	理		HIDランプ ・ <b>→</b> 硬質塩化ビニル <b>→</b>	<u>しない</u> する	除		<ul><li>↑ 行わない</li><li>○ 行う(分析結果は監督職員に提出す</li></ul>	「る。)
フェンス撤去、整地ほか 4. 積上げ仮設費	②. 騒·	音、防塵等	・ 設けない ※ 設ける(適用範囲、高さ等は図示) [2.2.1]				<u>しない</u> する	去		分析方法 ※ JIS A 1481「建 による。	<b>建材製品中のアスベスト含有測定法」</b>
仮囲い、交通誘導員ほか		対策	・ 防音パネル · 防音シート : 設けない				しない			材料名 定性	<u> </u>
	③. 交:	通誘導員	<ul><li>○ 配置する</li><li>・ 配置しない</li></ul>			現場利用する再資源化 種類	ごされた建設廃棄物 → 利用する場所	[4.4.1(f)] 所(箇所)等			女: 1 ) • (試料数: )
7 別途工事			20.11.7							アスベスト粉じん濃度測定	<u>X .                                   </u>
	工 4. 監事	督職員 務所	・ 設ける 既存建物内の一部を使用する。				 を現地で破砕し, 再生材クラッ 標準仕様書(表22.3.3)の再生材			<ul><li></li></ul>	
8 そ の 他			<ul><li>構内に新設する (規模 mf程度)</li><li>備え付ける備品 ( )</li></ul>				減量を50%以下にすること。	7777 77126		「JIS K 3850-1 空気中の繊維状料	
	* -		※ 設けない (請負者事務所に打合せ会議室を確保する)	2.	産業廃棄物			[4. 4. 2]		による。	
9 特記仕様書の範囲 特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の〇印もので構成する。	事 ⑤. エ	.事表示板	※ 設置する       ・ 設置しない		広域認定制度 の活用	種 類	所在地等(			用 名称 各	測定点 室 名 等 施工箇所ごと)
· 外横工事特記仕樣書 · 植栽工事特記仕様書 · 電気設備工事特記仕様書 · 機械設備工事特記仕様書						_				(注1)     (注1)	2点 ・ 点   2点 ・ 点
电水改删上学行乱让仪音 "没做改删上学行乱让仪音				3.	最終処分	○ (安定型) 種 類	受入施設名称等	[4.4.4] 所在地(Km) 備考			2点 · 点 2点 · 点
II 建築工事仕様	6 I	事用水	構内既存の施設 ※ 利用できる ( ※ 有償 ・ 無償)			石綿				・ 測定 2 施工区画周辺 ※ 2 又は敷地境界 ※ 2	2点 ・ 点
1. 共通仕様   図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「建	(D. I	事用電力	   構内既存の施設 ※ 利用できる ( ※ 有償 ・ 無償)							· 測定 3 処理作業中 処理作業室内 ※ 2	
築物解体工事共通仕様書(最新版)」(以下、「解体共通仕様書」という。)による。 ただし、「解体共通仕様書」に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書(最新版)」			○ 利用できない			・(管理型)(遮断型)		F + 11 /V ) /# +			2点 点
(以下「標準仕様書」という。)及び「公共建築改修工事標準仕様書(最新版)」(以下「改修標準仕様書」という。)による。	8. ⊥:	事用通路	※ 指定しない・ 指定する (図示)			種 類	受入施設名称等	所在地(Km) 備考		・測定4 セキュリティ ※	
なお、その他の施工条件は、別途本工事内容説明事項書による。	9. 足:	場その他	内部足場 ① 脚立、足場板等 ・枠組本足場 〈2.2.1〉 外部足場							ゾーン入口   ※   (空気の流れを)※	1点・点
2. 特記仕様			防護シート ・ 設ける (・ 防音シート ・ その他) ・ 設けない				は設計積算上の条件明示であり 上記によらない場合は、監督職			確認) <u>※</u> ・ 測定 5 負圧・粉じん装※	1点 ・ 点 1点 ・ 点
<ul><li>1)項目は、番号に○印のついたものを適用する。</li><li>2)特記事項は、○印のついたものを適用する。○印のつかない場合は※印のついたものを</li></ul>			材料の運搬 ・ A種 ・ B種 ・ C種	1 1		また、処理、処分に	先立ち処分場等の受入の可否を			置の排出吹出口※(除じん装置の※)	1点 ・ 点
適用する。 ・ ・ ・ ・ ・ さいた場合は、共に適用する。 ・ 			※ D種 ・ E種 足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労		処分に注意を 要する	 種 類	処理施設名称等	[4.4.4] 所在地(Km) 備考		性能確認) ※   ・測定6 施工区画周辺 ※2	1点 ・ 点
「標準仕様書」及び「改修標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。			働省平成21年4月策定)」によるものとし、設置については「手すり先行工		建設廃棄物	・CCA処理木材	<u> </u>	別在地(Kill)		又は敷地境界 ※ 2	2点・点
□ 草 項 目 特 記 事 項  ① 一般事項 ○ 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合には、監督職員に報告の			法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場 に関する基準」によること。			・ヒ素又はカドミウム					2点・点
上、指示に従うこと。 ○ 請負業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事	10. そ	の他	・ 酸素・アセチレン・軽油等の危険物は所定の位置に施錠できる小屋等に 保管すること。			<u>含有石膏ボード</u>					2点 · 点 2点 · 点
の円滑な進捗をはかること。  ⑥ 施工体系図を現場に掲示すること。			・作業通路は、指定通路表示を行い、足場等の堅固なもので頭上の保護を 行うこと。							・ 測定 8 施工区画周辺 ※ 2 又は敷地境界 ※ 2	2点 · 点   2点 · 点
・ 工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の 状況(地解:擁壁、内外壁、床、建具等)を調査・記録し、報告書を監督			・ 建物周辺は、粉塵防止や火災発生に備えて散水を行うこと。							・ 測定 9 処理作業後 処理作業室内 ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	2点 · 点 2点 · 点
ー 職員に提出すること。			・ 工事に関係部分の出入の表示を行うこと。	-							2点 · 点 2点 · 点
調査範囲 ※ 図示   ・	3. ①. 解	体工法	※ 解体工法は、低振動・低騒音型の機械器具等の選定を心がけ、防音	5 1	施工調査			[5, 1, 3]		測 定 点 総 計 注 1 : 周囲状況により上記によりがたい	点 場合け 監督職員と協議する
② 適用基準等	62		シートや散水等により騒音・振動の減少、粉塵の防止に努めること。  ※ 解体方法及び手順は、「分別解体等に係る施工方法に関する基準		心工则且	材料名	仕様等(型式、厚さ、数			(例) アスベスト粉じん濃度測定方法	<b>勿口は、血自物兵亡励成する。</b>
般 海老名市公共工事共通事項書 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	""	江計画書等	(建設リサイクル法規則第2条)」による。	特 別				・ 工事対象範囲		測点3 測点1,2	2, 4, 6, 7, 8 測点5
3. 工事実績情報   ※ 適用する (請負金額が500万円以上の場合) [1.1.4]	•	上訂四音寺	[1.2.1, 2] 工程表・施工計画書・仮設計画書等は、工事契約後速やかに監督職員に	理						数計機器     位相差・分散弱       メンブレン     2.5 mm	<u>貝內政範</u> 4 7 mm
(CORINS)の 受注時、変更時及び完了時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録 手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。	3. 杭	ī	提出し、承諾を得ること。       杭の解体     [3.8.2]	業。							5 L/min 10 L/min
・適用しない	施施	•	・ 行う (※杭頭から mまで ・全長 )	棄 2.	特別管理産業 廃棄物等の	※ 種類別に具体的な	処理、回収計画を定め施工計画	[5.1.3][1.2.2(a)] まに記載する		試料の吸引時間 5 min 1 試料の透明化 アセトン固定 - 有機物灰	2 Omin   2 4 Omin   で化-屈折率浸液法
● 電気保安 · 適用する ※ 適用しない [1.3.3]			杭の解体工法	の	処理及び回収	特別管理産業	処分場の名称	所在地等(km)		計数条件   総合倍率400倍、アス   計数アスベスト   幅3μm未満、長さ5μ	スペスト繊維総数、通常50視野 ルm以上、アスペクト比(長さ/幅)
技術者	I		・ 粉砕による解体	分	計画	廃棄物の種類				定量限界 50本/L 0.	3以上 47本/L 0.3本/L
通 ⑤ 事故報告 [1.3.8] エ事の施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するととも	4. 樹	木等	樹木の伐採伐根及び移植     [3.9.1]       ・ 行う ( / 図による)							記録する項目 ア・測定結果	
に、任意様式にもとづく「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提   出する。		下埋設物の 設配管	地下埋設物及び埋設配管の解体 [3.12.1]  ○ 行う ( 図による)							イ. 測定時間 ウ. 測定位置(測定高さとともに図面	5 b / - 司 # ナス ()
事 ⑥ 完成時 ※ 見開きA3(製本A4判) 竣工図、施工図 部			解体後の埋戻し及び盛り土 [3.13.1]		DOD + A+	DOD (18111511115	- "\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	LB \ [[ 4 0]		エ. サンプリング条件	
提出書類 ※ 完成図面電子データ (JWW形式及びPDF形式) 1式 ※ 本工事内容説明事項書に基づく市指定の工事書類 1式			(表8.28.1) (表8.28.1) (表8.28.1)	3.	PCBを含む 機器類等	PCB(ポリ塩化ビフェニ	- 一ル)含有機器 ・ 有(数 ・ 無	女量: ) [5.4.3]		オ.マウンティング法	直径、吸引時間、吸引空気量)
※ その他監督職員が指示したもの 1式			※ A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ D 種         ・ 構造物撤去等により自現場で発生するコンクリート塊を現場内			PCB含有シーリング材	• 有(M	西工範囲は図示)[5.4.4]		カ 顕微鏡視野面積、計数視野数 キ 測定時(各測定場所ごと)の	
項			で破砕したもの(粒径40mm以下)を使用する。 埋戻し範囲・図示による				〜〜〜 等については、飛散、流出がない			天候、温度、湿度、外気の風速及 測定機関	なび風量 〈9.1.1(e)〉
			C種の場合		#+ T# #= 7± =0		管し、工事完了後、監督職員に	引き渡す。		測定機関 都道府県労働局に登録されている作業	
			建設発生土受入れ量 m3 発生場所		特殊な建設 副産物の回収		う 対象機器 回収業者又に			施工記録報告書の提出 1. 施工計画書	
			受入条件 整地の高さ ・ 現状GL		及び処分	副産物の種類 ・フロン	名称 処分場の名称	等 所在地等		2. 工事記録及び工事写真 3. 産業廃棄物処理記録(廃石綿)	
			<ul><li>・ 図示 ( / 図による)</li></ul>			・ハロン・イオン化式感知器				4. 施工調査等記録(条規施行調査、含 5. 作業者の作業記録、各種健康診断記	
						・ 六フッ化硫黄 (SF6) カ	ja			6. その他必要事項	, sx、 メエ 用 工 羽 月 心 蝌
				$\Box$						提出部数 2部作成	
	Ī					海土	2 市	図面名称	解体	特記仕様書1	ļ
				1 \	/						·

**上事什么:旧女王励云廷初胜体上事** 

**世**名石甲

縮尺

図面番号

A - 01

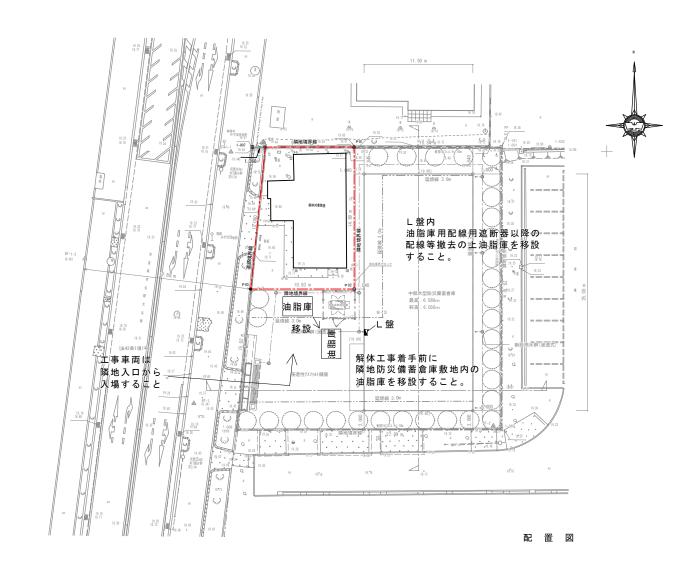
共通事項	専門工事業者 〈9.1.2〉 アスベスト含有建材の除去を直接行う専門業者については、工事に 相応した技術を有することを証明する書類を監督員に提出する。	<ul><li>⑤ アスベスト アスベスト含有成形板の除去工事</li></ul>		
1	作業主任者の選出 石綿作業主任技能講習又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者	養生 ※ 作業場は、養生シート等を用いて養生する。		
	技能講習を終了したものの中から、「石綿作業主任者」を選任しなければ ならない。	除去工法 ※ 作業場は、散水等により湿潤化し、手ばらしによること。 ※ やむを得ず破壊しなければならない場合には、十分に湿潤化した		
	除去作業者の教育 作業者は、就業時に石綿則第27条に基づく教育を受けた者とする。 また、一般健康診断、石綿健康診断及びじん肺健康診断を受診した者と し、肺機能に異常のない者とする。	状態で行うこと。  ※ 除去物については、粉じんの飛散防止に努め、特に破砕されたアスペペスト含有成形板については、湿潤化の上、丈夫なプラスチック袋に入れる等の飛散防止措置を講ずること。		
Ι.	特別管理産業廃棄物管理責任者の選出 排出業者は、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有するものを 選任し管理しなければならない。 ただし、アスベスト含有成形板の処理工事を除く。			
	表示及び掲示  更衣室など見やすい箇所に次の表示及び掲示を行う。  ※ アスペスト作業主任者名と職務内容  ※ 関係者以外立入禁止  ※ 喫煙・飲食の禁止  ※ 「アスペスト除去作業中」の表示  ※ アスペストの有害性  ※ 取り扱い上の注意事項  ※ 使用すべき保護具			
	周辺住民の見やすい箇所に以下の表示を行う。 ※ 「建築物等の解体等の作業に関するお知らせ(労働基準監督署への 届出内容、粉じん飛散抑制装置、曝露防止措置等)」			
ß	保護具、保護衣 (9.1.2 (g)) 作業内容に応じた、呼吸用保護具、保護めがねを使用すること。 除去したアスペスト含有物の保管、運搬等 (9.1.3 (c)) × (9.1.4 (c)) × (9.1.5 (C)) ※ 他の内装材、廃棄物等と分別保管 ※ 保管場所での飛散防止を施す。また、アスペスト成形版を運搬する 場合は、運搬車両の荷台全体をシート等で覆い、飛散防止に努める。			
アスベストフ含有吹付け材	<ul><li>※ アスペスト等の保管場所である旨の表示を行う。</li><li>アスベスト含有吹き付け材の除去工事</li></ul>			
1	作業場等の隔離等 〈9.1.3(a)〉 ※ 作業場は以下によるものとし負圧除じん機にて負圧状態により 飛散防止をすること。			
	隔離シートの性能			
	承諾を得ること。 セキュリティーゾーンの設置 〈9.1.3(a)〉 ※ 下表による			
	適用     室名     状態       ※     更衣室     ※     更衣ロッカー     ※     新品の保護具       ※     呼吸用保護具保管箱     ※     洗顔、うがい設備       ※     洗浄室     負圧     ※     エアシャワー(温水シャワー)			
	※			
	防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には監督員の 承諾を得ること。 徐去物及び汚染等 〈9.1.3(b)〉 処理方法			
	※ 密封処理(二重袋梱包) 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空 掃除機フィルタ、除じん機フィルタについても密封処理を行う。 ・ セメント固化			
有保温材等	アスペスト含有保温材の除去工事			
畫	養生等 〈9.1.4(a)〉 ※ 養生シート等を用いて区画し、場外への飛散防止を行う。			
	除去工法 <9.1.4(b)> ※ 粉じん飛散抑制剤などにより湿潤化したあとに、手ばらしによること。 ※ 除去物については改修標仕<9.1.3(b)>により、密封処理とする。			

**上事件名:旧安全協会建物解体上事** 



縮尺





	r	ניפו	
Δ	基 準 点	KOKKKKKKKKK	階 段
•	木 杭	·	ガードレール
•	市コンクリート杭		ガードポール
	市金属標	~~~~	ト タ ン 塀
⊞	民コンクリート杭		ブロック塀
0	民 鋲		フェンス塀
-0-	電柱及び支柱	***************************************	石 積
-	電 話 柱	TTTT	斜 面
۴	標識		コンクリート被覆
O #	仕 切 弁	742722173E	コンクリート面
0 G	ガ ス 弁	***************************************	間知ブロック積
0 汚	汚水マンホール	~~~~~~	生 垣
O M	マンホール	$_{\odot}$	庭木
O F	消 火 栓	Q	独立樹(広葉樹)
OΨ	止 水 栓	Λ	独立樹(針葉樹)

敷地面積						
N O	Х	Y	辺 長			
1003	-61914. 885	-39837.488				
1008	-61899. 870	-39836.090	15. 080			
1001	-61899. 791	-39826.690	9.400			
1002	-61914. 790	-39826.559	15. 000			
1003	-61914. 885	-39837.488	10. 929			
面積	152.4835370					
地 積		152.4	8 m <sup>2</sup>			
坪 数		46	. 1262 坪			

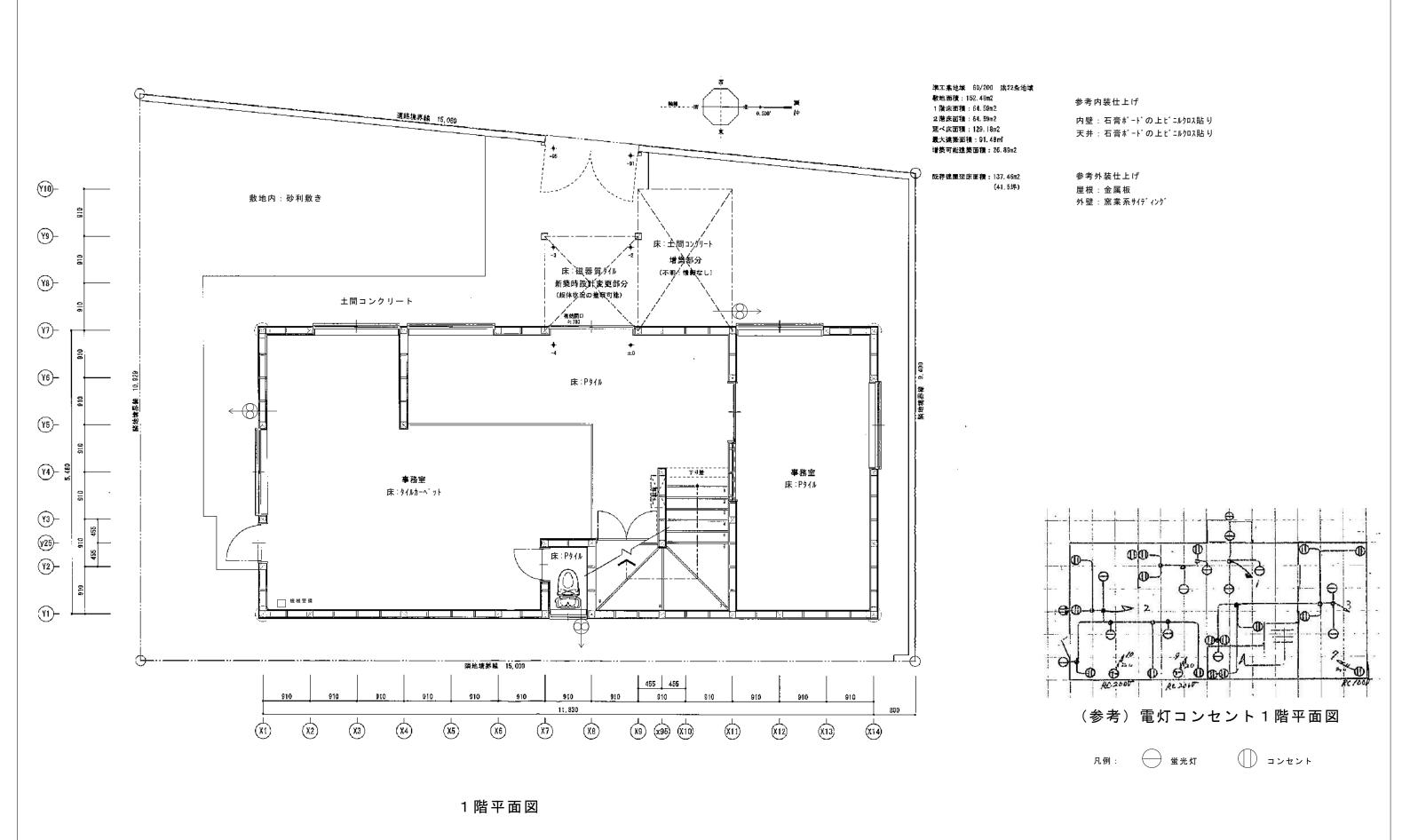
工事件名:旧安全協会建物解体工事



洴	事者		名 :	市
	<b>-</b>	_	_	- 1 -

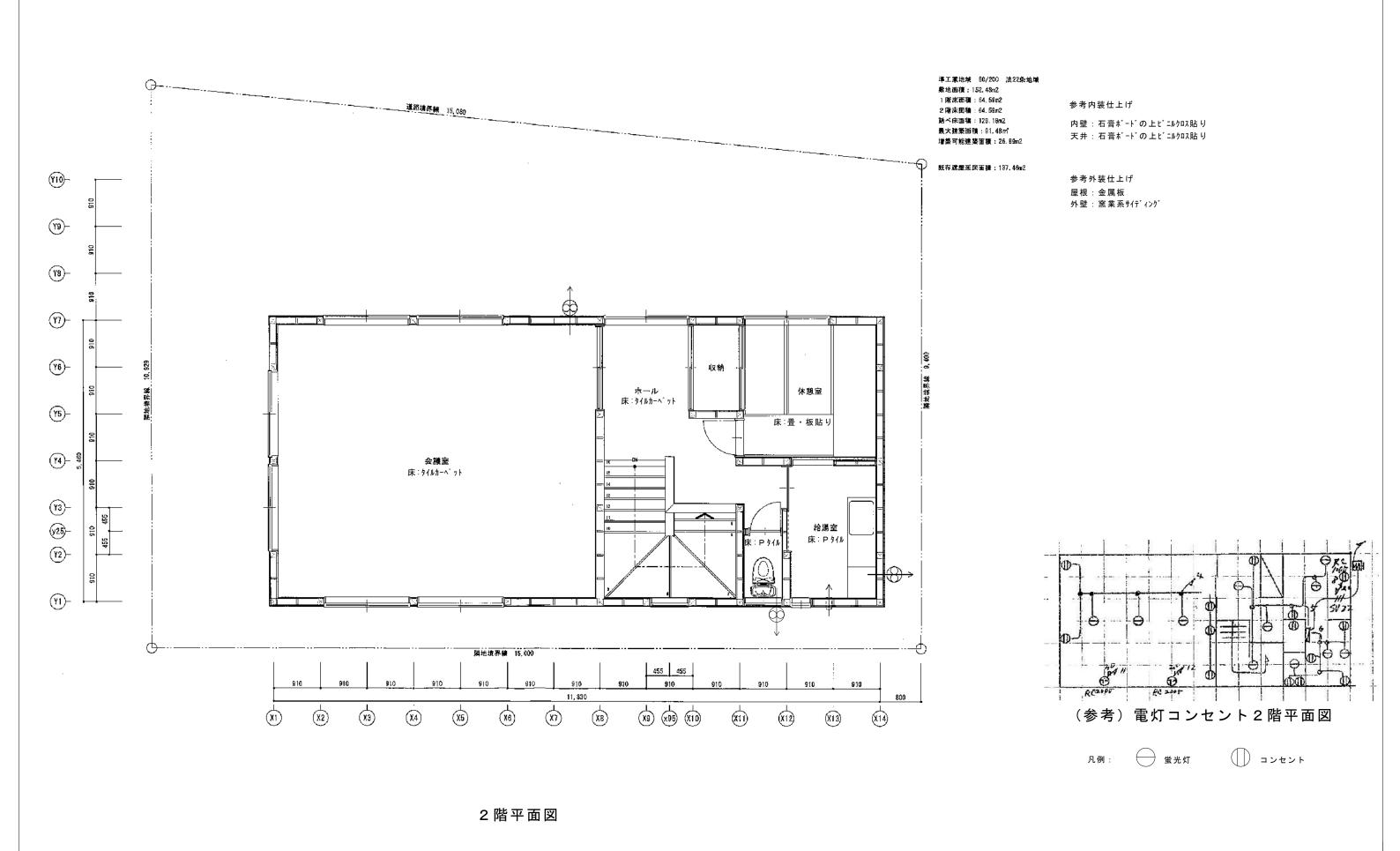
図面名称	案内図・配置図	
	_	হ

A - 03



工事件名:旧安全協会建物解体工事





工事件名:旧安全協会建物解体工事

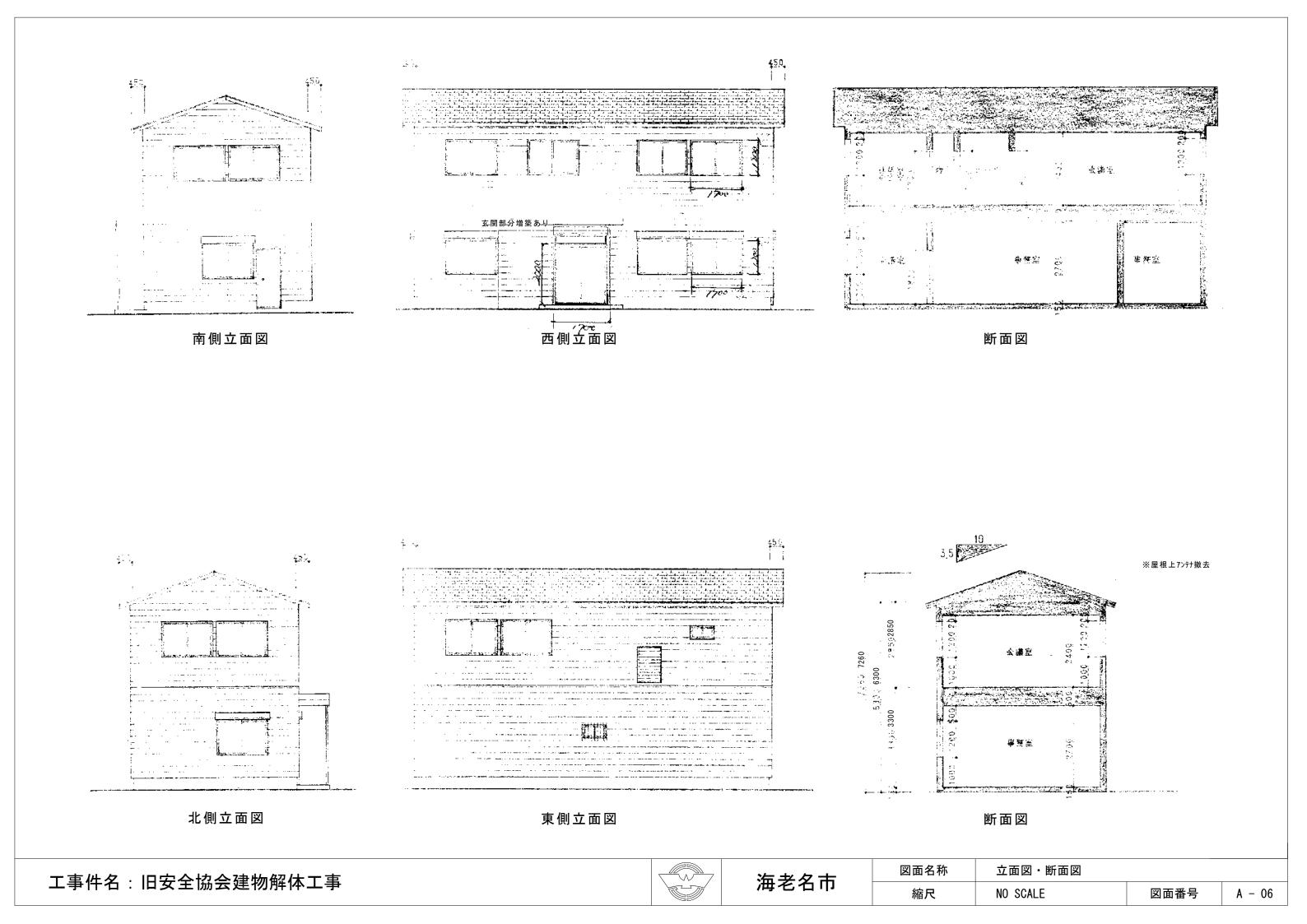


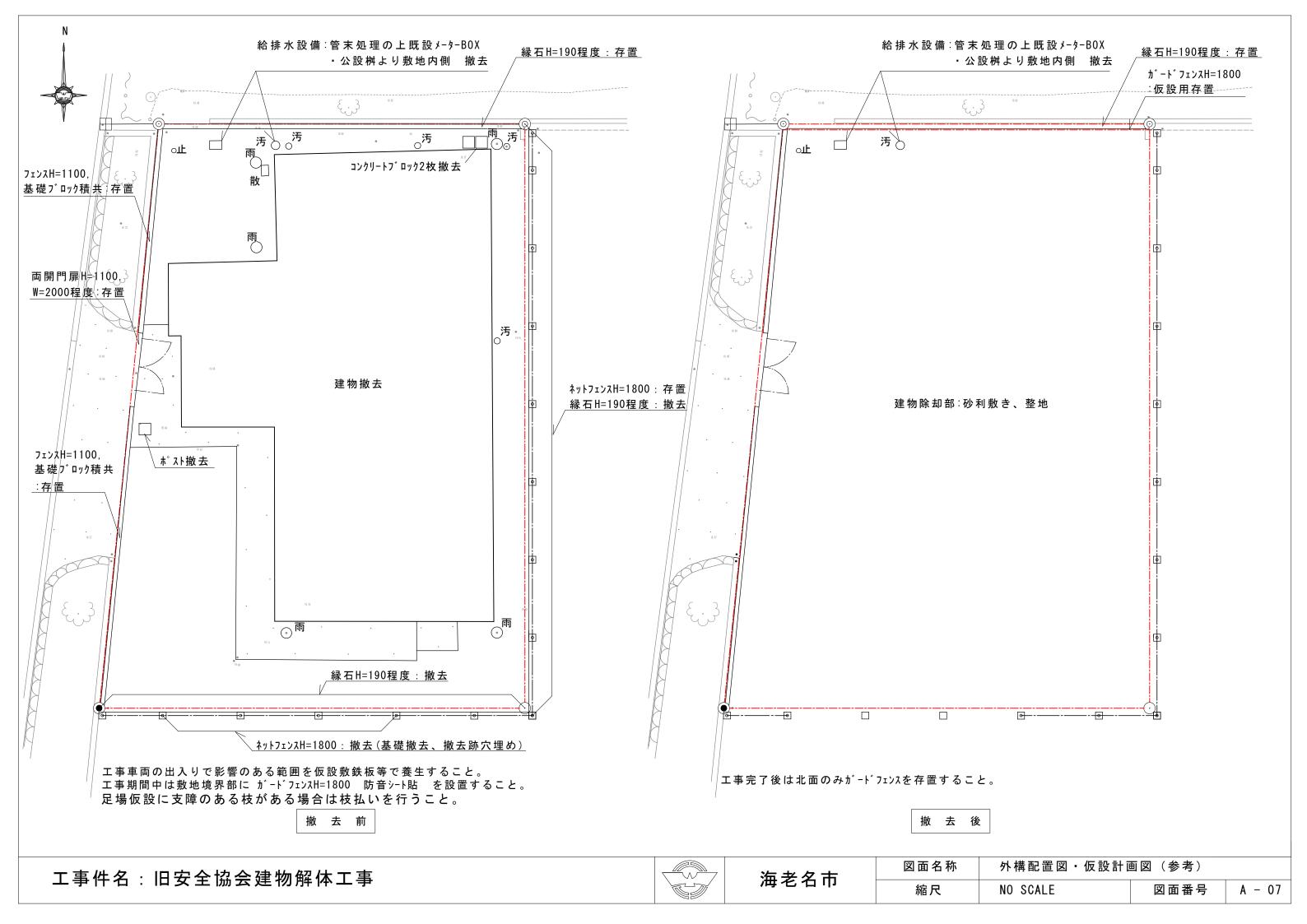
海老名市

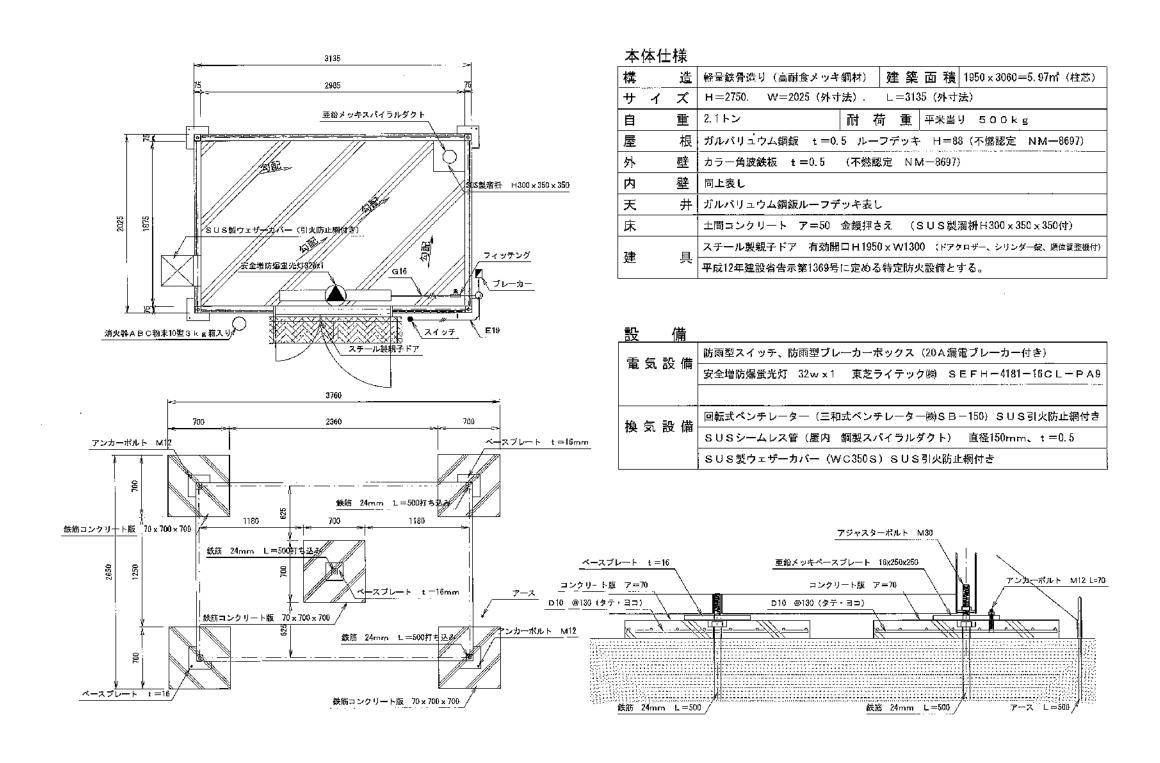
 図面名称
 2階平面図

 縮尺
 NO SCALE

図面番号 A - 05





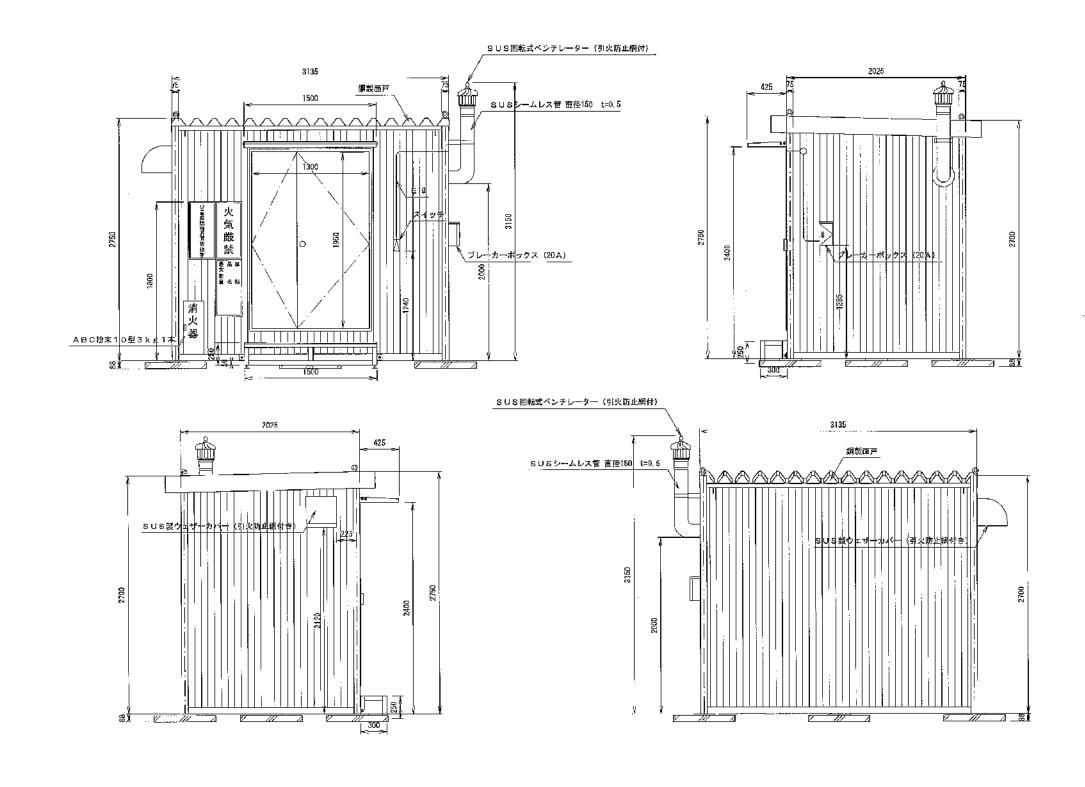


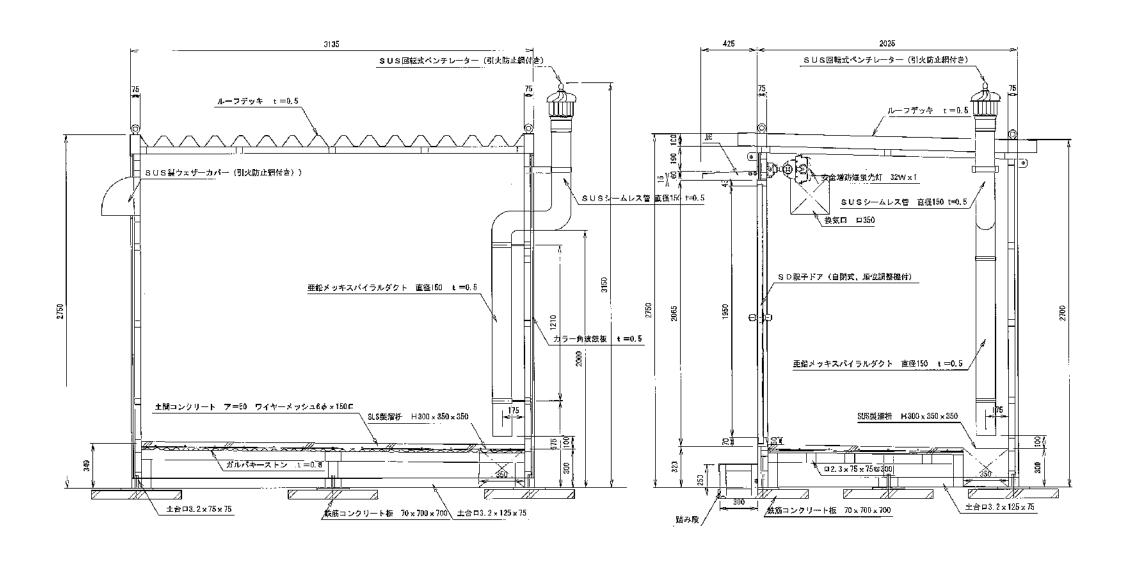
隣地内の油脂庫を仮置き場所に移設すること。移設先は監督員と協議の上決定すること。

縮尺



A - 08





海老名市